

2025/2/10 (月)

朝の礼拝

聖書 フィリピの信徒への手紙 4章 4-7節 (旧約聖書 366頁)

主にあっていつも喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。あなたがたの寛容な心をすべての人に知らせなさい。主は近いのです。何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を込めて祈りと願いを献げ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超えた神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスにあって守るでしょう。

あなたを守る

「喜びなさい」とありましたが、一時の喜びではありません。「主にあっていつも」とありました。主があなたと共にいる喜びです。あなたは一人ではない。主があなたにつながっていることです。あなたが心細い時、あなたの弱さにこそ、主が共におられるという意味です。

「寛容な心を」とありました。「広い」「柔和な」「温和な」とも訳せませんが難しいです。「憐れみ」に近いです。どんなに遠くにいても、自分のことのように感じてしまう、心が反応するということです。その憐れみの心を「すべての人に知らせなさい」と言っています。

そして「主は近いのです」とあります。主はあなたの祈りを聞いて、あなたを見て、あなたの思い煩い、悩みを知っているということです。それを「打ち明けなさい」とあります。ただ、あなたの思い通りに、願い通りに、祈りのようになるとは言っていない。

それはあなたが祈るより先に、もっと大切な、必要なものがすでに備えられているという意味です。そして主は「あなたの心と考えを守る」と言っています。主は過ちの多い、足りないところの多いあなたを守ります。それが人の思いを超えた主なる神の平和です。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、長く続いた豪雪が小康状態となりましたが、厳しい生活に耐えている方々がいらっしゃいます。また一つの学びの時を終える子どもたち、若者が新たな旅立ちへ向かっています。信じられないような壁に阻まれても、互いに向き合い、二人または三人と共にいると約束されたあなたを信じ、共に歩み続ける喜びに与らせてください。特に年度末に向かって努力する生徒たちを祝福してください。日々の努力は必ずしも報われるとは限りませんが、どうか努力する喜び、尊さを学ばせてください。どうか今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン